

住友化学 News Release

2021年3月29日

エンジニアリング機能の強化とスマート保安の実現に向けてエンジニアリング部を新設

住友化学は、2021年4月1日付で、新たにエンジニアリング部を設立いたします。それにより、プラントの新設や大型の設備改造における全社横断的かつ機動的なエンジニアリング体制を構築するとともに、各工場工務部門の保安・保全機能を強化し、デジタル技術を活用したスマート保安の取り組みを加速させます。

住友化学は、これまで、工場の設備設計・保全業務を担う組織として千葉や愛媛、大分などの各工場に工務部門を配置し、同部門は、それぞれの工場の特性に応じた最適なエンジニアリング機能の発揮により安全・安定操業に貢献してきました。一方、取り巻く事業環境の変化が加速し、またグローバル化が進展する中、特に新設・増強工事については従来以上に迅速な業務遂行が必要なほか、海外での大規模設備投資に対する支援の拡充が求められています。さらに、国内に保有する多くの設備の高経年化や労働人口の減少などを背景に、エンジニアリング業務、保安・保全業務の全社的な最適化や、それを担う人材の育成、ノウハウの継承も急務となっています。

こうした状況を踏まえ、住友化学は、プラントの新設や大型の設備改造について、よりシームレスに設計から建設までを実行できる全社横断的かつ効率的な体制を構築するとともに、各工場工務部門の保安・保全機能を強化することとしました。新設するエンジニアリング部は、エンジニアリング業務の全社最適化や人材の機動的な活用と育成を進め、また当社のグループ会社で同機能を展開する住友ケミカルエンジニアリング株式会社および株式会社シアテックとより緊密な連携を図ります。各工場工務部門においては、今後、設備や運転、エンジニアリングなどのデータを連携させた統合プラットフォームから得られるデータに基づく予知・予兆検知をはじめ、デジタル技術を活用したスマート保安の実現に注力していきます。

住友化学は、引き続き、事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、工場における機能全体を高度化するとともに、安全・安定操業の継続により、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

以上